

報告2 超福祉展「ヒューマンライブラリー」&「シブヤフォント」

去る11月7日(火)～13日(月)、第4回目となる「超福祉展」が開催されました。福祉そのものに対する「意識のバリアをなくそう」と企画され、渋谷駅近辺の各所で展示や参加型イベントがあり、ぱれっとは「ヒューマンライブラリー」と「シブヤフォントシンポジウム」に参加しました。

●ヒューマンライブラリーとは？

デンマークで2000年に生まれた試みで、話し手が「本」役となり自身の体験や思いを語り、数名の「読者(お客様さん)」との対話を通して、相互理解を深める目的です。

今回は工房ぱれっとの榊川里穂さんが「わたしの仕事～わたしのらぶらび見てください!～」、おかし屋ぱれっとの照井美貴さんが「私の仕事と休日」と題して、それぞれが「本」役となりました。読者には大学生や新聞記者の方達が、ぜひこの話を聞きたいと予約をして集まってくれました。最初に写真を見せながら自分の体験を語った後は、読者からの質問に答えていきます。輪の中には今日初めて会ったばかりとは思えない程親密な空気が流れ、「どうやってアイデアが生まれるんですか」「大変だと思ったことはありますか」等次々と質問が飛び、30分間では時間が足りない程です。

話し終えた榊川さんは「緊張した～っ!」と安堵の表情。一方の照井さんは「全然緊張しませんでした」と余裕を見せてくれました。読者からは、「直接話してみて、仕事に対する真剣

さが伝わってきた」学生からは「こんなに長時間働いていることを知って驚いた」「人生の先輩としてかっこいいと思った」との声が聞かれました。



【緊張したけど、聞いてもらえて嬉しかった!】

●新作シブヤフォントもお披露目

障がいのある人の手書きの文字(フォント)や絵(パターン)をデジタルデータにして、広く一般に利用してもらおうと取組んでいる「シブヤフォントプロジェクト」の今年度の成果も超福祉展で初めて発表しました。渋谷ヒカリエで開催したシンポジウムでは、関わった桑沢デザイン研究所の学生や作業所職員が製作の背景を話し、お客様には気に入った作品へ投票をしてもらいました。また渋谷駅ハチ公広場の展示車両(通称:青蛙)をシブヤフォントで参加者が思い思いにデコレーションしたり、ハチ公がシブヤパターンを配した蝶ネクタイでおめかししたりと来街者にアピールしました。

渋谷区では障がいのある人の活躍の場がどんどん増えて広がっていると感じます。こうした新しいチャレンジが、本人にとって自分の殻を破るきっかけとなっていくことを願います。(工房ぱれっと 玉井七恵)

報告3 きずな ~絆プロジェクト2017!~

あしもと ほじ わたし で き こと さあ、うご だそう!
足元から始める 私たちに出ること さあ、動き出そう!

みな きずな という チーム を ご ぞん じで
 しょうか? 今 回は "絆 とは?" を 昨 年 一
 年 の 取 り 組 み を 新 た に 加 え 紹 介 い た し
 ます! 大 変 面 白 い 試 み を 行 な っ て い ま
 す の で 最 後 ま で お 読 み 下 さ い!

● どん な と ころ?

絆 では、た ま り 場 ば れ っ と 利 用 者 と
 ボ ラ ン テ ィ ア が、共 に たの しみ つ つ
 一 生 懸 命 考 え・運 営 す る こ と を 通 し て、
 豊 かな 人 間 関 係・学 び・成 長・喜 び が
 得 ら れ る、そ ン な 場 を 目 標 に 様 々 な 取 り
 組 み を し て い ま す。

【開催】 毎 月 一 回 の 定 例 会 を 基 本 活 動 と
 し、そ の 他 お 出 か け 企 画 な ど を 実 施。

【参加者】 定 例 会 に は 平 均 20 人 程 が
 継 続 的 に 参 加。

● 活 動 に お い て 大 切 に し て い る こ と

次 は 私 た ち が 活 動 を 行 な う 際 に、
 大 切 に し て い る 主 な も の で す。

- 皆 で 考 え 話 し 合 う 時 間、
 皆 で 共 に 取 り 組 む 時 間 を 大 切 に。
- 楽 し み な が ら 学 ぶ。
 学 び な が ら 楽 し む こ と の 実 現。
- 参 加 者 の 長 期 的 な 関 わ り な ら で は の
 深 い 企 画 と 人 間 関 係 作 り。

● 活 動 方 針

昨 年 は 特 に 大 切 に す る 観 点 と し て 次
 の 3 点 を 設 定 し ま し た。

- 大 切 に し た い こ と → 取 り 組 み
- 自 立 に 向 け て → 日 常 生 活 力 UP!
- 自 発 性 の 向 上 → 皆 が 中 心 の 時 間 作 り
- 社 会 と の 繋 が り → 社 会 の 一 員 と し て の 活 動

実 施 に あ た っ て は、学 び 効 果 の ア ッ プ
 を 期 待 し、同 じ 企 画 を 繰 り 返 し 実 施 す る
 こ と と し ま し た。



【(クッキング) 味付けについての学び】

● 具 体 的 な 活 動 の 紹 介 !

次 が 2017 年 の 主 な 取 り 組 み で す。

- に こ に こ ク ッ キ ン グ (通 年)
- み ん な が 先 生 プ ロ ジ ェ ク ト (通 年)
- 街 の 片 づ け 大 作 戦 (通 年)
- 新 年 会 ■ 野 外 活 動
- ピ ク ニ ッ ク (有 栖 川 公 園)
- NHK ス タ ジ オ パ ー ク 見 学
- 語 り 場 ■ 寸 劇 ■ 忘 年 会

こ の 中 で 今 回 は、1 年 を 通 し て 取 り 組
 ん だ 3 つ の 活 動 に つ い て 紹 介 し ま す。

◆ に こ に こ ク ッ キ ン グ (日 常 生 活 力 UP)

切 り 方・火 の 通 し 方・味 付 け 等、毎 回
 テ マ を 設 定 し 料 理 の 基 本 を 学 び ま し た。
 出 来 上 が り ま で の プ ロ セ ス を 確 認 し
 て か ら 行 な う こ と で、普 段 料 理 を し な い
 人 で も 理 解 し や す く 楽 し ん で 取 り 組 め
 る プ ロ グ ラ ム と な り ま し た。初 め は 元 々
 料 理 が 得 意 な 人 の 働 き が 目 立 っ て い ま
 し た が、回 を 重 ね る こ と に 皆 が 自 分 の
 役 割 を 見 つ け て、積 極 的 に 関 わ る よ う に

なりました。

〈参加者の感想〉

- ・家でも試したくなる簡単なレシピだったのが良かった
- ・料理も食事も皆でするほうが楽しい

◆皆が先生プロジェクト(皆が中心)

自分が得意なことを他の絆メンバーへ伝えようというプロジェクトです。ダンスが得意な人による野外ダンスレッスンや茶道を嗜む人による袱紗さばき講座など、どの回も特技が存分に発揮された内容でした。進行役の経験がほとんど無い人も挑戦してくれたこと、更に授業後に授業を受けた人に意見やアドバイスを自ら求める姿に驚きました。

〈参加者の感想〉

- ・丁寧に教えられたけど、言葉で説明するのは難しかった
- ・教える立場は初めてだったが良かった



【(先生)袱紗さばきを丁寧に説明!】

◆街の片づけ大作戦(社会の一員!)

恵比寿の街へ感謝の気持ちを込めてごみ拾い活動を行いました。美化委員会を中心に毎回話し合いが行なわれ、活動前には注意事項の確認とルート決め、活動後はふり返りをしました。その中で「どうしたら周囲に気を配りながら

安全にごみ拾いができるか」ということが議題にあがり、皆で解決方法を見つけて実行し、より安全に活動ができるようになりました。また、プロジェクトの特別編として品川清掃工場の見学会に皆で参加し、ごみの分別やりサイクルの大切さを改めて認識出来ました。

〈参加者の感想〉

- ・街を綺麗にできている実感がある
- ・やってみるとけっこう面白い



【(片付け)ごみ拾ったどう!】

◆まとめてみると

これら1年の活動を通してメンバーは、皆への心配りや、協調して取り組むこと、また人前で話し・伝える・聞くことが上手になり、合わせて責任感や自信、新しいことに取り組む姿勢なども増した気が(なんとなく? ^ ^)します!

●そして新たな始まり!

昨年は、プログラム自体に継続性を持たせるといって、私たちにとってはチャレンジな1年でした。無事終了することができ、参加者はじめ温かく見守って頂きました皆様に御礼を申し上げます。と同時に、2018年はさらに今年の活動を踏まえ、活動に広がりや深みを持たせていきたいと思ひます。

絆プロジェクト実行委員会一同